

Educational Program: Access Program

アクセスプログラム

美術館びじゅつかんによく行く人も、
行きづらさを感じている人もい ひと

2026.5 - 2026.6



アクセスプログラムについて

横浜美術館では、障がいや言語、年齢などにかかわらず、
どなたでも気軽にアートを楽しむための
〈アクセスプログラム〉を開催しています。

※申込不要のプログラムは、事情により内容や実施予定等を変更する場合があります。
ご来館前に最新情報をウェブサイトでご確認ください。

お申込は
ウェブサイトから
詳しくは裏面をご覧ください

コレクション展 | ギャラリートーク

事前申込不要

学芸員やエドゥケーターが、英語や手話の通訳者をまじえて展覧会や作品についてお話しします。参加ご希望の方は当日会場にお集まりください。

●英語通訳付きギャラリートーク

日程＝5月16日④ 11:00-11:45

●手話通訳付きギャラリートーク

日程＝6月6日④ 11:00-11:45

※ギャラリートークは、5月22日⑤も開催します(14:00-14:30。英語・手話通訳はありません)。

※全日程で、テレコイル対応の補聴援助システム受信機の貸出をおこないます。
ご利用希望の方は予約フォームよりご予約ください(先着10台)。

会場＝コレクション展示室

※3F展示室ホワイエ(ギャラリー5前) 集合。

参加費＝無料

※当日有効の観覧券が必要。

※障がい者手帳をお持ちの方と介護の方(1名)は無料(ミライID可)。



手話通訳付きギャラリートーク 撮影：加藤甫



テレコイル対応補聴援助システム
受信機予約フォーム



コレクション展 | オンライン鑑賞会

要事前申込

オンラインで横浜美術館コレクション展の作品を鑑賞します。住む場所や暮らし方の違ういろいろな人と、みんなで一緒に作品についてお話ししましょう。ご自身が心地よく感じる場所からご参加ください。

※Zoom(ウェブ会議ツール)を使用します。

※PC、接続環境やZoomの操作につきましては、各自でご準備をお願いします。

日程＝6月27日④ 14:00-15:30(途中休憩あり)

対象＝鑑賞会に関心のあるすべての人、
美術館への来館が難しい人、発達障がいのある人、
精神障がいのある人など

定員＝10名程度(応募多数の場合は抽選)

参加費＝無料

申込締切＝6月7日④



要事前申込

「没後110年 日本画の革命児 今村紫紅」展の会場内で、目の見える人・見えない人の2人のナビゲーターやエドゥケーターとともに、言葉を通してグループで作品を鑑賞します。

● 視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ スタッフ

2012年活動開始。全国の美術館や学校で目の見える人、見えない人が言葉を介して「みること」を考える鑑賞プログラムを企画運営している。

日程＝6月14日①

① 午前コース (10:30-12:30)

② 午後コース (14:30-16:30) 〈手話通訳あり〉

対象＝鑑賞会に関心のあるすべての人、
視覚や聴覚に障がいのある人など

※手話通訳を希望する方は、②午後コースにお申し込みください。

定員＝各回8名程度 (応募多数の場合は抽選)

会場＝企画展展示室

参加費＝無料

※当日有効の観覧券が必要。

※障がい者手帳をお持ちの方と介護の方 (1名) は無料 (ミライロID可)。

申込締切＝5月25日 ②

表紙＝ことばで一緒にみる鑑賞会 撮影：加藤甫

📄 もっと多くの方に美術館を楽しんでもらうために

● 子どものためのアクセスプログラムを実施中！

12歳以下を対象とした創造の場である「子どものアトリエ」では、2つのアクセスプログラムを開催。「はじめての造形あそび」は未就学児とその保護者を、「のびのび造形じかん」は個別支援学級や特別支援学校に通う小学生とその家族を対象としています。詳細は裏面「申込方法」欄のQRコードからご覧ください。



のびのび造形じかん 撮影：加藤甫



カームダウン・クールダウンスペース 撮影：加藤甫

● カームダウン・クールダウンスペース

感覚過敏や発達障がい等、音や光などの外部刺激が苦手な方のためのスペースをロビーフロアに設置しています。不安やストレスを感じたときに気持ちを落ち着かせ、パニックを未然に防ぐことを目的として自由にお使いいただけます。あらかじめ場所を確認したい方は、裏面「アクセシビリティ情報」のQRコードからご覧ください。

● 横浜美術館の展覧会

小学生以下、観覧無料

※日程や内容等は変更になる場合がございます。最新の情報は当館ウェブサイトでご確認ください。

[企画展]

没後110年
日本画の革命児 今村紫紅

2026年4月25日①－6月28日②

休館日＝木曜日 (ただし4月30日と5月7日は開館)

鮮やかな色彩と伸びやかな構図、たくみな筆づかいで、新しい日本画を志した画家・今村紫紅の大規模な回顧展。35年の生涯を力強く駆け抜けた紫紅の創作の軌跡を、約180点の作品でたどります。国指定重要文化財の《熱國之巻》や《近江八景》(いずれも期間限定展示)のほか、初公開の作品も数多く出品されます。

今村紫紅《護花鈴》(図は六曲屏風一双の部分)
明治44年 (1911) 霊友会妙一コレクション所蔵
(展示期間：4月25日～5月8日)



[コレクション展]

みる風景、かんがえる風景

2026年4月25日①－6月28日②

休館日＝木曜日 (ただし4月30日と5月7日は開館)

「今村紫紅」展に関連し、風景をテーマに構成します。風景画に強烈な個性を発揮した紫紅の制作にみられるように、芸術家たちは独創的な風景を描き写してきました。風景に何をみて、何を考え、表現してきたのか、19世紀から現代にいたる作品を紹介しながらたどります。「ハイライト」では、ダリやピカソらの作品を展示します。

ポール・セザンヌ《ガルダンヌから見たサント＝ヴィクトワール山》1892-95年



申込方法

ウェブサイトの各プログラムの「申込フォーム」からお申し込みください。

- ◎応募者多数の場合は抽選となります。
- ◎申込フォームからのお申込が難しい方は、電話、メールでお問合せください。

横浜美術館ウェブサイト「参加する」
<https://yokohama.art.museum/event>



●申込後の流れ

▶受付完了後に「受付確認メール」(自動返信)をお送りします。すぐに届かない場合は、ご連絡ください。

※登録アドレスに間違いがあるか、メール受信拒否が設定されている場合があります。特にスマートフォンでのお申込の場合は、設定をご確認の上、当館ドメイン@yaf.or.jpの受信設定をお願いします。

▶抽選結果は、申込締切後、全員に原則「メール」でお知らせします。

※メールの受信が難しい方には、その他の方法でご連絡します。

◎やむを得ない事情により、プログラム内容を変更または中止する場合があります。その際は、申込者全員にご連絡します。

◎プログラム中の記録写真、映像を横浜美術館または横浜市芸術文化振興財団のウェブサイトやその他の刊行物に掲載する場合があります。

◎お預りした個人情報は、横浜市芸術文化振興財団個人情報保護方針に基づき厳重に管理するとともに、プログラムに関するご連絡や、横浜美術館のご案内以外には使用しません。

●お問合せ

横浜美術館 アクセスプログラム

Tel. 045-221-0300

Email yma-kansho@yaf.or.jp

受付時間10:00-18:00 木曜日休館(4/30、5/7は開館)

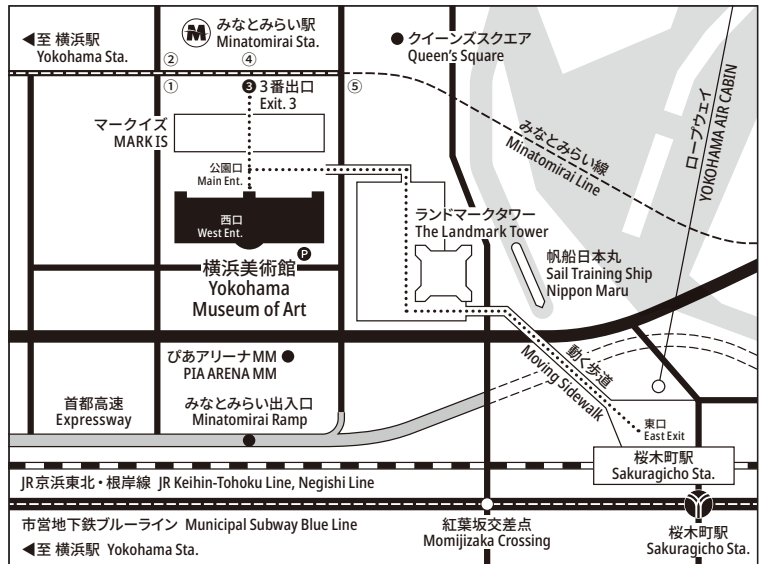
〒220-0012 横浜市西区みなとみらい3-4-1

●アクセス

- みなとみらい線(東急東横線直通)「みなとみらい」駅(3番出口)から、マークイズみなとみらい<グランドギャラリー>経由徒歩3分
- JR京浜東北線・JR根岸線・横浜市営地下鉄「桜木町」駅から、<動く歩道>を利用、徒歩10分
- 駐車場(10:00-21:00、台数157台)最初の90分は500円、以降30分毎に250円

※自転車・自動二輪車は、周辺の有料駐輪場をご利用ください。

※障がい者手帳をお持ちの方には駐車場割引(最初の90分無料)があります。



アクセシビリティ情報

<https://yokohama.art.museum/visit/accessibility/>

車いす向けルートのアクセス情報や乳幼児対象サービスなど、ご来館時に必要な情報を掲載しています。



Social Story (ソーシャルストーリー)

はじめて美術館に行きます。横浜美術館

[当館ウェブサイトにPDFデータ掲載、館内(総合案内)にて配布]

主に発達障がいがある方とその家族に向けた、美術館案内です。わかりやすい文章と絵や写真で、入館前から退館までの流れをストーリー形式で紹介しています。



横浜美術館<アクセスプログラム>

メールニュース

今後のアクセスプログラムの開催情報を随時お知らせします。ご希望の方はQRコードから申込フォームにアクセスしてご登録ください。



親子で楽しむ横浜美術館

手話によるご案内

[日本語字幕、音声ガイド付き映像/約7分]

大人と子どものナビゲーターが、美術館の施設や楽しみ方を手話で分かりやすく紹介しています。YouTubeなどで公開中。



横浜美術館をさらに楽しんでいただくために、さまざまな方を対象としたプログラムを企画しています。詳細は当館ウェブサイトでご確認ください。

●横浜美術館ウェブサイト →

<https://yokohama.art.museum>

